

第2学年 算数科年間指導計画 (175時間 ①60 ②80 ③35)

* は「発展的な学習内容」を含む箇所

★は教育出版のWebサイトに「まなびリンク（デジタルコンテンツ）」がある箇所

月	単元・教材名	学習目標・学習活動	時数	評価規準	関連・系統
4 (10)	●算数をはじめよう！ ／ココアはいくつ 【2】 算数をはじめよう！／ 算数でつかいたい考え方	①②算数の学習の進め方を理解し、問題解決に生かすことができる。 ・「算数をはじめよう！」及び「算数でつかいたい考え方」を見て、算数の学習の進め方について話し合う。	1	【知技】・問題解決の進め方を理解している。(2時間同評価規準)	
	ココアはいくつ	・「ココアはいくつ」の問題に取り組み、同じ文字が同じ数になるようにして、 $\text{ココア}+\text{ココア}=\text{15}$ になる式をつくる。	1	【思判表】・問題の条件に着目し、題意に合う式を筋道を立てて考えたり表現したりしている。 【態】単元を通じて評価する。 ・問いをもち、主体的に考えたり友だちの考えから学び合おうとしたりするとともに、解決の過程や結果を振り返り、よりよい方法を考えたり新たな問いを見いだそうとしたりしている。	
	1 表とグラフ【3】	①身のまわりの数量を分類整理して、簡単な表やグラフに表すことができる。 ・「そだてたい野菜はいくつ？」の活動をきっかけに、育てたい野菜調べの結果をわかりやすく分類整理し、簡単な表やグラフに表す。	1	【知技】・一次元表や〇を用いたグラフについて理解し、表したりよみ取ったりすることができる。 【思判表】・データを分類整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて表し、数の大きさなどの特徴について考えている。(②まで同評価規準) 【態】単元を通じて評価する。 ・データをわかりやすく整理し表やグラフに表すことについて、目的意識をもって主体的に取り組んでいる。	1年 9 かずを せいりして 3年 6 表とぼう グラフ

<p>学んだことをつかおう</p>	<p>②表やグラフを活用する場面について考えたり、よみ取ったりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学級しようかいをしよう！」という目的意識から、表やグラフを活用した学級紹介について話し合う。 ・学級紹介のポスターを見て、どんなことがよみ取れるかを話し合う。 	<p>1</p>		
<p>まとめ</p>	<p>③学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめをする。 	<p>1</p>	<p>【知技】・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。</p> <p>【思判表】・「表とグラフ」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。</p>	
<p>2 時こくと時間 【4】</p>	<p>①時刻と時間の意味や、時間の単位「時、分」の関係を理解する。</p> <p>★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「何時に何をやるのかな？」の活動をきっかけに、時計のよみ方を振り返り、遠足の日の時刻や時間を調べる。 ・9時、9時20分などの時刻をよんだり、時間を求めたりする。 ・時間の単位「時、分」を知り、1時間=60分間を知る。 	<p>1</p>	<p>【知技】・時刻と時間の意味、時間の単位「時、分」と単位の関係を理解し、時刻や時間を表すことができる。</p> <p>【思判表】・時間の単位に着目し、短針や長針の動きをもとに日常生活における時刻や時間の求め方を考えている。(③まで同評価規準)</p> <p>【態】単元を通じて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時刻と時間の表し方を主体的に考えたり、生活や学習に活用しようとしていたりしている。 	<p>1年</p> <p>3 いまなんじ</p> <p>16 なんじ</p> <p>なんぶん</p> <p>3年</p> <p>2 時こくと時間</p> <p>★まなびリンク シミュレーション「時計ツール」</p> <p>★まなびリンク 資料「時と時計について学ぶページ（日本時計協会）」</p>
	<p>②午前と午後、正午の意味や、時間の単位「日、時」の関係を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日の生活を調べることをとおして、「午前、午後、正午」を知り、1日=24時間を知る。 ・模型時計を使って、簡単な場合について時刻や時間を求める問題を出し合う。 	<p>1</p>	<p>【知技】・午前と午後、正午の意味、時間の単位「日、時」と単位の関係を理解している。</p>	
<p>学んだことをつかおう</p>	<p>③日常生活の場面と関連づけて、時刻や時間を表すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「時間のつかい方を考えよう！」という目的意識から、家に帰ったあとの時間の使い方について考え、時刻や時間のお話をする。 	<p>1</p>		
<p>まとめ</p>	<p>④学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめをする。 	<p>1</p>	<p>【知技】・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。</p> <p>【思判表】・「時こくと時間」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。</p>	

5 (15)	3 たし算【9】 (2けた+2けたの計算)	<p>①②2 位数+2 位数で繰り上がりのない加法の計算のしかたを理解する。★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おかしを2つえらぼう！」の活動をきっかけに、場面絵を見て加法の問題を作り、既習の計算を振り返るとともに、未習の問題に取り組むことに関心をもつ。 ・24+15のような、2 位数+2 位数で繰り上がりのない加法の計算のしかたを考える。(p.34~35の[友だちのノートを見てみよう]も扱う。) <p>[算数のミカタ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい計算のしかたを考えるとき、数を分けて、10がいくつと1がいくつという見方をしたことを振り返る。 	2	<p>【知技】・2 位数の加法の計算が、1 位数などについての基本的な計算をもとにしてできることを理解している。(2時間同評価規準)</p> <p>【思判表】・2 位数の加法の計算のしかたを、1 位数の計算や十進位取り記数法による数の表し方などをもとに図や式などを用いて考えている。(2時間同評価規準)</p> <p>【態】単元を通じて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加法の計算のしかたについて、既習の計算などをもとに主体的に考えた、加法を生活や学習に活用しようとしていたりしている。 	<p>1年</p> <p>11 3つの数のたしざん、ひきざん</p> <p>12 たしざん</p> <p>13 ひきざん</p> <p>15 大きなかず</p> <p>2年</p> <p>4 ひき算</p> <p>6 100より大きい数</p> <p>7 たし算とひき算</p> <p>15 1000より大きい数</p> <p>3年</p> <p>3 たし算とひき算</p> <p>12 分数</p> <p>14 小数</p>
		<p>③2 位数+2 位数で繰り上がりのない加法の筆算のしかたを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24+15のような、2 位数+2 位数で繰り上がりのない加法の筆算のしかたを考える。 	1	<p>【知技】・繰り上がりのない2 位数の加法の筆算形式を知り、筆算ができる。</p> <p>【思判表】・2 位数の加法の計算のしかたと筆算のしかたを関連づけて考えている。(⑥まで同評価規準)</p>	★まなびリンク シミュレーション「たし算カード(フラッシュカード 第1学年・繰り上がりのあるたし算の計算練習)」
		<p>④⑤2 位数+2 位数で繰り上がりのある加法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・28+17のような、2 位数+2 位数で繰り上がりのある加法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。 	2	<p>【知技】・繰り上がりのある2 位数の加法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。(2時間同評価規準)</p>	
		<p>⑥2 位数+2 位数=何十の計算や、1 位数と2 位数の繰り上がりのある加法の計算ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・49+31のような、答えが何十になる加法の計算のしかたを考える。 ・4+27のような、被加数や加数が1 位数の加法の計算のしかたを考える。 	1	<p>【知技】・2 位数+2 位数=何十の加法や、1 位数+2 位数で繰り上がりのある加法の筆算ができる。</p>	
	(たし算のきまり)	<p>⑦加法の交換法則を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8+6と6+8の答えを比べることをとおして、加法の交換法則を知る。 	1	<p>【知技】・加法の交換法則が成り立つことを理解している。</p>	
学んだことをつかおう	<p>⑧日常生活の場面と関連づけて、加法の計算を活用することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「100円でえらぼう！」という目的意識から、いろいろなお菓子の選び方を考え説明し、その代金を求める。 <p>[友だちのノートを見てみよう]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書のノート例や友だちのノートを見て、ノートの書き方の工夫について話し合う。 	1	<p>【思判表】・問題の条件に着目し、加法の計算を用いて目的に合った買い方を考えている。</p>		

<p>まとめ</p>	<p>⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元のまとめをする。 	<p>1</p>	<p>【知技】・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。</p> <p>【思判表】・「たし算」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。</p>	
<p>4 ひき算【9】 (2けたー2けたの計算)</p>	<p>①②2 位数ー2 位数で繰り下がりのない減法の計算のしかたを理解する。★</p> <ul style="list-style-type: none"> 「のこりは何円かな？」の活動をきっかけに、場面絵を見て減法の問題を作り、既習の計算を振り返るとともに、未習の問題に取り組むことに関心をもつ。 35ー12 のような、2 位数ー2 位数で繰り下がりのない減法の計算のしかたを考える。 	<p>2</p>	<p>【知技】・2 位数の減法の計算が、1 位数などについての基本的な計算をもとにしてできることを理解している。(2 時間同評価規準)</p> <p>【思判表】・2 位数の減法の計算のしかたを、1 位数の計算や十進位取り記数法による数の表し方などをもとに図や式などを用いて考えている。(2 時間同評価規準)</p> <p>【態】単元を通じて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 減法の計算のしかたについて、既習の計算などをもとに主体的に考えたり、減法を生活や学習に活用しようとしていたりしている。 	<p>1年</p> <p>11 3つの数のたしざん、ひきざん</p> <p>12 たしざん</p> <p>13 ひきざん</p> <p>15 大きなかず</p> <p>2年</p> <p>3 たし算</p> <p>6 100 より大きい数</p> <p>7 たし算とひき算</p> <p>15 1000 より大きい数</p> <p>3年</p> <p>3 たし算とひき算</p> <p>12 分数</p> <p>14 小数</p>
	<p>③2 位数ー2 位数で繰り下がりのない減法の筆算のしかたを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 35ー12 のような、2 位数ー2 位数で繰り下がりのない減法の筆算のしかたを考える。 	<p>1</p>	<p>【知技】・繰り下がりのない2 位数の減法の筆算形式を知り、筆算ができる。</p> <p>【思判表】・2 位数の減法の計算のしかたと筆算のしかたを関連づけて考えている。(⑥まで同評価規準)</p>	<p>★まなびリンク シミュレーション「ひき算カード(フラッシュカード 第2学年・繰り下がりのあるひき算の計算練習)」</p>
	<p>④⑤2 位数ー2 位数で繰り下がりのある減法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 34ー18 のような、2 位数ー2 位数で繰り下がりのある減法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。 	<p>2</p>	<p>【知技】・繰り下がりのある2 位数の減法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。(2 時間同評価規準)</p>	
	<p>⑥何十ー何十何の計算や、2 位数ー2 位数=1 位数の計算ができる。また、2 位数ー1 位数で繰り下がりのある減法の計算ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 60ー32 のような、何十からひく減法の計算や、52ー49 のような、答えが1 位数になる減法の計算のしかたを考える。 71ー3 のような、減数が1 位数の減法の計算のしかたを考える。 	<p>1</p>	<p>【知技】・2 位数ー2 位数=1 位数の減法や、2 位数ー1 位数で繰り下がりのある減法の筆算ができる。</p>	
<p>(計算のたしかめ)</p>	<p>⑦加法と減法の相互関係と計算の確かめのしかたを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 23ー7=16 と 16+7=23 を比べることをとおして、加法と減法の相互関係を知り、計算の確かめに用いる。 	<p>1</p>	<p>【知技】・加法と減法との相互関係について理解し、計算の確かめに用いることができる。</p>	

6 (20)	学んだことをつかおう	⑧日常生活の場面の問題解決に減法の計算を活用し、判断の理由を言葉や式などを用いて説明することができる。 ・「どちらがやすいかな？」という目的意識から、値引きのある店とない店で、どの品物を買うときにどちらの店が安くなるかを言葉や式などを用いて説明する。	1	【思判表】・どの品物を買うときにどちらの店が安くなるかを言葉や式などを使って説明している。	
	まとめ	⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。	1	【知技】・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 【思判表】・「ひき算」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。	
	■ 何人いるかな 【1】	①重なりがある場合などの順序数の加法を理解する。 ・ある子どもの位置が前から8番め、後ろから4番めるとき全部で何人いるかを考え、加法の式に表す。 ・ある子どもの前に6人、後ろに5人いるとき全部で何人いるかを考え、加法の式に表す。	1	【思判表】・順序数の加法の場面を図などを用いて表し、計算のしかたを考えている。	
	5 長さ【8】 長さのあらわし方	①②長さの意味、長さの単位「cm」、長さの測定（普遍単位）を理解する。 ・「同じ長さになるかな？」の活動をきっかけに、長さを表したり伝えたりすることに関心をもつ。 ・しおりの長さをいろいろな具体物を使って表す活動をとおして、任意単位を用いた長さの表し方を考える。 ・長さの単位「センチメートル(cm)」を知る。 ・目盛りテープを用いて長さを測る。 [算数のミカタ] ・ものの大きさの表し方を考えるとき、もとにする大きさを決めて、そのいくつ分という見方をしたことを振り返る。	2	【知技】・長さの単位「cm」と測定の意味を理解している。(2時間同評価規準) 【思判表】・測定するものの特徴に着目し、基準とする大きさを決めて数値化するしかたを考えている。(2時間同評価規準) 【態】単元を通じて評価する。 ・長さの測定に主体的に取り組み、生活や学習に活用しようとしている。	1年 14 くらべかた 2年 12 長いものの長さ 8 水のかさ 9 三角形と四角形 3年 5 長さ 11 重さ
(1cmよりみじかい長さ)	③④長さの単位「mm」と単位の関係、ものさしの機能と使い方を理解する。★ ・はがきの縦の長さを測る活動をとおして、長さの単位「ミリメートル(mm)」を知り、1cm=10mmを知る。 ・ものさしのしくみを知る。	2	【知技】・長さの単位「mm」を知り、1cm=10mmの関係を理解している。また、ものさしの目盛りのしくみを理解している。(2時間同評価規準) 【思判表】・1cmより短いのはしたの長さを表す必要から、cmより小さな単位で表すことを考えている。(2時間同評価規準)	★まなびリンク 動画「長さのはかり方(右きき)(左きき)」	
	⑤直線の意味とかき方を理解する。★ ・直線の意味を知り、ものさしを使って直線をかく。	1	【知技】・直線の意味とかき方を理解し、決まった長さの直線をかくことができる。	★まなびリンク 動画「直線のかき方(右きき)(左きき)」	

(長さの計算)	⑥長さについて加法性が成り立つことを理解する。 ・折れ曲がった線の長さを調べることをとおして、長さは加減計算ができることを知る。	1	【知技】・長さの加法性について理解し、複名数で表された長さの加減計算ができる。	
学んだことをつかおう	⑦身のまわりのものの長さについて、およその見当をつけ、測定することができる。 ・「長さの図かみを作ろう」という目的意識から、身のまわりのものの長さをものさしを使って測定し、まとめる。	1	【知技】・身のまわりのものの長さについておよその見当をつけ、ものさしを使って測定することができる。	
まとめ	⑧学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。 [ものさし計算き] ・ものさしの目盛りの付き方に着目し、2つの「ものさし計算き」を組み合わせて12+4や12-4の答えが求められるしくみについて考える。	1	【知技】・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 【思判表】・「長さ」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。	
◎ ふくしゅう① 【3】 ※+3	・「時ごとと時間」の復習をする。 ・単元6「100より大きい数」に関わる既習事項を確認する。	3		
6 100より大きい数 【10】	①1000未満の数のよみ方、表し方、3位数の構成と位取りのしくみ(百の位)を理解する。 ・「何人いるかな?」の活動をきっかけに、子どもの数を数える活動をおとして、既習の範囲を超える数を数えたり表したりすることに興味をもつ。 ・3位数の十進位取り記数法によるよみ方、表し方を知る。 ・百の位について知る。	1	【知技】・百の位について知り、3位数のよみ方、表し方を理解し、書いたりよんだりすることができる。 【思判表】・100までの数の既習事項や、ものの個数を実際に数える活動をもとに、3位数の表し方や比べ方を考えている。(④まで同評価規準) 【態】単元を通じて評価する。 ・身のまわりのものの個数を10や100のまとまりにして数えたり、数えたものを数字で表したり、3位数や1000を身のまわりから見つけ、その大きさを捉えたりしようとしている。	1年 8 10より 大きい数 15 大きな数 2年 15 1000より 大きい数 3年 8 10000より 大きい数
	②空位のある3位数のよみ方、表し方を理解する。 ・305のような、空位のある3位数のよみ方、表し方を知る。	1	【知技】・空位のある3位数のよみ方、表し方を理解し、書いたりよんだりすることができる。	
	③3位数の大小比較のしかたを理解する。 ・赤組、白組、青組の点数を比べることをとおして、3位数の大小比較のしかたを考える。 ・記号「>、<」を知る。	1	【知技】・3位数の大小について理解し、「>、<」を用いて表すことができる。	

		④数直線をもとに、3位数の順序、大小について理解する。 ・数直線(数の線)で目盛りがどんな数を表しているかを調べ、数を位置づけたり、数の大きさを比べたりする。 [算数メモ]* ・数の線のことを数直線ということを知る。 [数の大きさをくらべよう] ・0から9までの数字カードで3位数を作って大小を比べる。	1	【知技】・数直線での3位数の位置、順序、大小、系列を理解している。	
	(10がいくつ)	⑤数の相対的な大きさについて理解する。 ・10を16個集めた数の大きさについて考える。 ・250は10を何個集めた数かを考える。	1	【知技】・数の相対的な大きさを捉え、何百何十の数を10をもとにしていくつ分かで表すことができる。 【思判表】・数の構成や相対的な大きさに着目し、数を多面的に捉えて表している。(⑦まで同評価規準)	
	(千)	⑥1000のよみ方、書き方を理解し、1000以下の数の順序について理解する。 ・ひよこの数を数えることをとおして、100を10個集めた数を千といい、1000と書くことや、999より1大きい数であることを知る。	1	【知技】・千について知り、1000のよみ方、書き方を理解している。	
7 (15)		⑦数を多面的に捉えて表すことができる。 ・位取り板や数直線を用いて、392を多面的に捉えて表す。	1		
	何十、何百の計算	⑧十を単位としてみられる数の加法、減法の計算のしかたを理解する。 ・ $70+50$ 、 $120-30$ などの加法、減法の計算のしかたを10をもとにして考える。 [算数のミカタ] ・新しい計算のしかたを考えると、10のまとまりを単位とした数の見方をしたことを振り返る。	1	【知技】・10をもとにした加法、減法の計算ができる。 【思判表】・簡単な場合の3位数などの加法、減法の計算のしかたを、10や100をもとにして考えている。(⑨まで同評価規準)	
		⑨百を単位としてみられる数の加法及び減法の計算のしかたを理解する。 ・ $300+400$ 、 $700-200$ 、 $430+20$ 、 $360-40$ などの加法、減法の計算のしかたを10や100をもとにして考える。	1	【知技】・10や100をもとにした加法、減法の計算ができる。	
	まとめ	⑩学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。	1	【知技】・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 【思判表】・「100より大きい数」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。	
	● たし算とひき算の図【2】	①加法と減法のテープ図の見方やかき方を理解する。 ・青いりんごが6個、赤いりんごが8個、あわせて14個ある場合で、テープ図と式を関連づけて捉え、加法と減法のテープ図の見方やかき方を知る。	1	【思判表】・加法と減法の相互関係をもとに、テープ図の見方やかき方を考えている。(②まで同評価規準) 【態】単元を通じて評価する。	

				・図を用いると場面や数量の関係が捉えやすくなることに気づき生活や学習に活用しようとしている。	
		②加法や減法の問題場面をテープ図に表すことができる。 ・買い物で、加法や減法の問題をテープ図や式に表して解決する。	1	【知技】・加法、減法の問題場面をテープ図や式に表すことができる。	
7 たし算とひき算 【9】	①2位数+2位数で百の位に繰り上がる加法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。 ・「何かあるかな？」の活動をきっかけに、 $43+29$ 、 $43-15$ のような既習の計算を振り返るとともに、未習の問題に取り組むことに関心をもつ。 ・ $72+63$ のような、2位数+2位数で百の位に繰り上がる加法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。	1	【知技】・百の位に繰り上がる加法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。 【思判表】・百の位に繰り上がる加法の計算のしかたを、既習の計算や十進位取り記数法による数の表し方などをもとに図や式などを用いて考えている。(③まで同評価規準) 【態】単元を通じて評価する。 ・加法及び減法の計算のしかたについて、既習の計算などをもとに主体的に考えたり、加法及び減法を生活や学習に活用しようとしていたりしている。	1年 11 3つの数のたしざん、ひきざん 12 たしざん 13 ひきざん 15 大きなかず 2年 3 たし算 4 ひき算 6 100より大きい数 15 1000より大きい数 3年 3 たし算とひき算 12 分数 14 小数	
	②2位数+2位数で繰り上がりが2回ある加法の計算ができる。 ・ $83+49$ のような、繰り上がりが2回ある加法の計算のしかたを考える。	1	【知技】・繰り上がりが2回ある加法の筆算ができる。		
	③繰り上がって答えの十の位が空位になる加法の計算ができる。また、百の位への繰り上がりのない3位数+1・2位数の加法の計算ができる。 ・ $68+37$ や $95+6$ のような、答えの十の位が0になる加法の計算のしかたを考える。 ・ $437+6$ や $719+33$ のような、百の位への繰り上がりのない3位数+1・2位数の加法の計算のしかたを考える。	1	【知技】・繰り上がって答えの十の位が空位になる加法や、百の位への繰り上がりのない3位数+1・2位数の加法の筆算ができる。		
百の位からくり下がるひき算	④百何十何-2位数で百の位から繰り下がる減法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。 ・ $125-43$ のような、百何十何-2位数で百の位から繰り下がる減法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。	1	【知技】・百の位から繰り下がる減法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。 【思判表】・百の位から繰り下がる減法の計算のしかたを、既習の計算や十進位取り記数法による数の表し方などをもとに図や式などを用いて考えている。(⑦まで同評価		

		⑤百何十何一2位数で繰り下がりが2回ある減法の計算ができる。 ・163-79のような、百何十何一2位数で繰り下がりが2回ある減法の計算のしかたを考える。	1	【知技】・百何十何一2位数で繰り下がりが2回ある減法の筆算ができる。	
		⑥百の位から波及的に繰り下がる減法の計算ができる。	1	【知技】・百の位から波及的に繰り下がる減法の筆算ができる。	
		⑦答えが1位数になる減法の計算や、百何一1位数=2位数の減法の計算ができる。また、百の位からの繰り下がりのない3位数-1・2位数の減法の計算ができる。 ・106-98のような、百何一2位数=1位数の減法の計算や、103-6のような、百何一1位数=2位数の減法の計算のしかたを考える。 ・282-6, 271-34のような、百の位からの繰り下がりのない3位数-1・2位数の減法の計算のしかたを考える。	1	【知技】・答えが1位数になる減法や、百何一1位数=2位数の減法の筆算ができる。	
	(3つの数のたし算)	⑧加法の結合法則を用いた計算や、()を用いた式について理解する。 ・15+6+4の答えの求め方を考える場面をとおして、()の意味と使い方、加法の結合法則を知る。	1	【知技】・加法の結合法則が成り立つことや、()の意味や使い方を理解し、式に表すことができる。	
	まとめ	⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。	1	【知技】・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 【思判表】・「たし算とひき算」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。	
8 (10)	■ 筆算をつくろう 【1】	①数字カードを使った活動をとおして、筆算のしくみの理解を深める。 ・筆算のしくみをもとに、決められた枚数の数字カードを使って正しい筆算の作り方を考える。	1	【思判表】・筆算のしくみをもとに、決められた枚数の数字カードを使って正しい筆算の作り方を考えている。	
	◎ ふくしゅう② 【3】 ※+3	・「長さ」「100より大きい数」「たし算」「ひき算」の復習をする。	3		
	8 水のかさ【7】 かさのあらし方	①かさの意味、かさの比べ方を理解する。 ・「水のかさは同じかな?」の活動をきっかけに、かさを表したり伝えたりすることに関心をもつ。 ・2つの水筒に入っている水のかさを比べることをとおして、かさの比較・測定のしかたや意味について考える。	1	【知技】・かさの任意単位による測定の意味を理解している。 【思判表】・かさの比較や測定について、長さの場合をもとにして、基準とする大きさを決めて数値化するしかたを考えている。(②まで同評価規準) 【態】単元を通じて評価する。 ・かさの測定に主体的に取り組み、生活や学習に活用しようとしている。	1年 14 くらべかた 2年 5 長さ 12 長いものの長さ 3年 5 長さ 11 重さ 5年 2 体積

	(リットル)	②かさの単位「L」を理解する。 ・やかんとポットに入る水のかさを調べることとおして、かさの単位「リットル(L)」を知る。	1	【知技】・かさの単位「L」を理解している。	
	(小さいかさのたんい)	③かさの単位「dL」と単位の関係を理解する。 ・1Lに満たない水のかさを調べることとおして、かさの単位「デシリットル (dL)」を知り、1L=10dLを知る。	1	【知技】・かさの単位「dL」を知り、1L=10dLの関係を理解している。 【思判表】・既習の単位では表せないはしたのかさを表す必要から、1Lを10に分けた単位「dL」や、1dLを10に分けた単位「mL」を作ること考えている。 (④まで同評価規準)	
		④かさの単位「mL」と単位の関係を理解する。 ・ジュースなどの入れ物に入る水のかさを調べることとおして、かさの単位「ミリリットル(mL)」を知り、1L=1000mL、1dL=100mLを知る。	1	【知技】・かさの単位「mL」を知り、1L=1000mL、1dL=100mLの関係を理解している。	
	(かさの計算)	⑤かさについて加法性が成り立つことを理解する。 ・ポットとペットボトルの水のかさの合計や違いを求めることとおして、水のかさは加減計算ができることを知る。	1	【知技】・かさの加法性について理解し、複名数で表されたかさの加減計算ができる。	
	学んだことをつかおう	⑥身のまわりのもののかさについて、およその見当をつけ、測定することができる。 ・「水のかさの図かんを作ろう」という目的意識から、身のまわりのもののかさを1リットルますを使って測定し、まとめる。	1	【知技】・身のまわりのもののかさについておよその見当をつけ、1リットルますを使って測定することができる。	
9 (15)	まとめ	⑦学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。 [くらしの中の水のかさ] ・日常生活の中でどれぐらいの水を使っているかを知る。	1	【知技】・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 【思判表】・「水のかさ」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。	
	■ ロボットレース 【1】	①直線の作図の習熟を図る。 ・じゃんけんをしながら、決められた長さの直線をかいてゴールを目ざすゲームに取り組む。	1	【知技】・ものさしを用いて直線を作図することができる。	
9	三角形と四角形 【9】	①②三角形、四角形の意味や、平面図形の構成要素(辺、頂点)を理解する。 ・「どうぶつをかこもう!」の活動をきっかけに、囲んでできた形に関心をもつ。 ・囲んでできた形の直線の数やかどの数に着目して、3本の直線で囲まれた形を三角形、4本の直線で囲まれた形を四角形ということを知る。 ・辺、頂点の意味や、三角形、四角形の辺、頂点の数について知る。 [算数メモ]* ・5本の直線で囲まれた形を五角形ということを知る。	2	【知技】・三角形、四角形の意味や、辺、頂点の意味を理解している。 (2時間同評価規準) 【思判表】・点と点を直線で結んでできた図形(三角形、四角形)について、直線の本数に着目して分類し、その特徴を見いだしたり、構成のしかたを考えたりしている。(2時間同評価規準) 【能】単元を通じて評価	1年 10 かたちあそび 18 かたちづくり 2年 5 長さ 3年 13 三角形 4年 7 垂直、平行と四角形

				<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角形や四角形の特徴を調べたり，構成したりすることに主体的に取り組むとともに，身のまわりから図形を見つけようとしたり，長方形，正方形，直角三角形を敷き詰める活動をとおして，できあがる図形的美しさを感じたりしている。 	
(直角)	<p>[三角形や四角形を見つけよう]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりから三角形や四角形のものを探す。 <p>③直角の意味を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙を4つに折って，ノートのかどにぴったり重なる形を作ることとおして，直角について知る。 	1	<p>【知技】・直角の意味を理解している。</p>		
(長方形と正方形)	<p>④長方形の意味，性質，辺の相等関係を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙の端を折って四角形を作ることとおして，長方形について知る。 <p>[算数のミカタ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の特徴を調べるとき，かどの形，辺の長さに着目したことを振り返る。 	1	<p>【知技】・長方形の意味や性質を理解している。</p> <p>【思判表】・四角形（長方形，正方形）や三角形（直角三角形）について，直角や辺の相等関係に着目して分類し，その特徴を見いだしたり，構成のしかたを考えたりしている。(⑦まで同評価規準)</p>		
	<p>⑤正方形の意味，性質，辺の相等関係を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長方形の紙を折って，短辺の長さにそろえて切った図形を調べることとおして，正方形について知る。 <p>[長方形や正方形を見つけよう]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりから長方形や正方形のものを探す。 	1	<p>【知技】・正方形の意味や性質を理解している。</p>		
(直角三角形)	<p>⑥直角三角形の意味，性質を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長方形や正方形の紙を半分に切った図形を調べることとおして，直角三角形について知る。 	1	<p>【知技】・直角三角形の意味や性質を理解している。</p>		
	<p>⑦方眼を使って，長方形，正方形，直角三角形を作図することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・方眼を使って長方形，正方形，直角三角形を作図する。 	1	<p>【知技】・方眼を使って，長方形，正方形，直角三角形を作図することができる。</p>		
学んだことをつかおう	<p>⑧敷き詰め模様の構成，観察とおして，平面図形の広がりや図形的美しさを捉え，図形についての感覚を豊かにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「きれいなもようを作ろう！」という目的意識から，折り紙で作った長方形，正方形，直角三角形を敷き詰めた模様を作る。 	1	<p>【知技】・長方形，正方形，直角三角形をきまりに従って並べ，美しい模様を作ることができる。</p> <p>【思判表】・長方形，正方形，直角三角形の構成や分解のしかたを考えている。</p>		

	<p>まとめ</p> <p>⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元のまとめをする。 	1	<p>【知技】・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。</p> <p>【思判表】・「三角形と四角形」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。</p>	
	<p>■ タングラム【1】</p> <p>①図形についての感覚を豊かにする。★</p> <ul style="list-style-type: none"> タングラムを用いた形作りをする。 	1	<p>【知技】・身のまわりのものの形を図形として捉え、三角形や四角形を組み合わせて構成することができる。</p>	<p>★まなびリンク資料「タングラム 問題プリントダウンロードページ (株式会社パディンハウス)」</p>
10 (20)	<p>10 かけ算【20】</p> <p>①②乗法の意味、乗法の式について理解する。★</p> <ul style="list-style-type: none"> 「何人のっているかな？」の活動をきっかけに、乗り物に乗っている人数を調べる活動をとおして、同じ数のまとまりに着目して数えることに興味をもつ。 同じ数のまとまりに着目して、数をおはじきで表す。 3人ずつ4台分で12人になる場面を表すことをとおして、乗法の意味と式、「かけ算」の意味を知る。 	2	<p>【知技】・乗法の意味や式の表し方を理解している。(2時間同評価規準)</p> <p>【思判表】・乗法が用いられる場面を具体物や図などを用いて考え表現するとともに、乗法の式を、具体的な場面に結びつけて考えている。(⑥まで同評価規準)</p> <p>【態】単元を通じて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 乗法の意味や計算のしかたについて、累加や乗法に関して成り立つ簡単な性質を用いるなどして主体的に考えたり、乗法を生活や学習に活用しようとしていたりしている。 	<p>1年</p> <p>8 10より大きい数</p> <p>15 大きな数</p> <p>2年</p> <p>11 かけ算</p> <p>九九づくり</p> <p>13 九九の表</p> <p>3年</p> <p>1 かけ算のきまり</p> <p>4 わり算</p> <p>10 かけ算の筆算</p> <p>15 2けたの数のかけ算</p> <p>★まなびリンクシミュレーション「かけ算の導入イラスト」</p>
	<p>③乗法の式について理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 場面絵に合うように乗法の式に表す。 乗法の式に合うようにおはじきを並べる。 	1	<p>【知技】・乗法が用いられる場面を式に表したり、式をよみ取ったりすることができる。</p>	
	<p>④乗法の答えの求め方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ボールが3個入った入れ物が5本あるときのボールの数を求めることをとおして、3×5の乗法の答えは累加の式$3+3+3+3+3$で求められることを知る。 	1	<p>【知技】・乗法は累加で答えを求めることができることを理解している。</p>	
	<p>⑤乗法の式を、具体的な場面と関連づけて用いることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 被乗数と乗数が入れ替わる問題場面をそれぞれ乗法の式に表すことをとおして、それらの違いについて考える。 	1	<p>【知技】・「1つ分の数」と「いくつ分」の意味について理解を深め、乗法の式を具体的な場面と関連づけて用いることができる。</p>	

	<p>⑥身のまわりのものを乗法の式で表すことができる。</p> <p>・身のまわりから乗法の式で表せるものを見つけ、式や答えを書く。</p>	1	【知技】・身のまわりから乗法が用いられる場面を見だし、乗法の式に表すことができる。	
(5の段と2の段の九九)	<p>⑦5の段の九九を構成することができる。</p> <p>・1箱5個入りのドーナツが何箱あるときのドーナツの数の求め方を考える。</p> <p>・図をもとに5×1から5×9の答えを求め、5の段の九九を構成する。</p> <p>・$5 \times 1 = 5$を「五一が5」と唱え、このような唱え方を九九ということを知る。</p>	1	【知技】・乗法九九について知り、累加などによって、5の段の九九を構成することができる。	【思判表】・計算のしかたを振り返り、乗法に関して成り立つ簡単な性質を見いだしたり、それをもとに乗法を構成したりしている。(⑩まで同評価規準)
	<p>⑧⑨5の段の九九に習熟する。</p> <p>・5の段の九九の唱え方を知り、練習する。</p> <p>・5の段の九九を、カードを使って練習する。(p.22の[九九のれんしゅう]も扱う。)</p>	2	【知技】・5の段の九九を唱えることができる。	(2時間同評価規準)
	<p>⑩2の段の九九を構成することができる。</p> <p>・1パック2個入りのおにぎりが5パックあるときの個数を求めることをとおして、2の段の九九を構成する。</p>	1	【知技】・累加などによって、2の段の九九を構成することができる。	
	<p>⑪⑫2の段の九九に習熟する。</p> <p>・2の段の九九の唱え方を知り、練習する。</p> <p>・2の段の九九を、カードを使って練習する。(p.22の[九九のれんしゅう]も扱う。)</p>	2	【知技】・2の段の九九を唱えることができる。	(2時間同評価規準)
(3の段と4の段の九九)	<p>⑬3の段の九九を構成することができる。</p> <p>・1パック3個入りのヨーグルトが4パックあるときの個数を求めることをとおして、3の段の九九を構成する。</p> <p>・かけられる数、かける数の意味を知る。</p>	1	【知技】・答えがいくつずつ増えているかなどを用いて、3の段の九九を構成することができる。	
	<p>⑭⑬3の段の九九に習熟する。</p> <p>・3の段の九九の唱え方を知り、練習する。</p> <p>・3の段の九九を、カードを使って練習する。(p.22の[九九のれんしゅう]も扱う。)</p>	2	【知技】・3の段の九九を唱えることができる。	(2時間同評価規準)
	<p>⑯4の段の九九を構成することができる。</p> <p>・1箱4個入りのチョコレートが5箱あるときの個数を求めることをとおして、4の段の九九を構成する。</p> <p>・乗数が1増えると積はいくつ増えるかを調べる。</p>	1	【知技】・乗数と積の関係などを用いて、4の段の九九を構成することができる。	
	<p>⑰⑱4の段の九九に習熟する。</p> <p>・4の段の九九の唱え方を知り、練習する。</p> <p>・4の段の九九を、カードを使って練習する。(p.22の[九九のれんしゅう]も扱う。)</p>	2	【知技】・4の段の九九を唱えることができる。	(2時間同評価規準)
(かけ算のもんだいづくり)	<p>⑲乗法の式に合う問題を作ることができる。</p> <p>・場面絵から乗法の式で表せるものを見つけて問題を作る。</p>	1	【知技】・乗法の式に合う問題を作ることができる。	

	まとめ	<p>②学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元のまとめをする。 <p>[九九のれんしゅう]★</p> <ul style="list-style-type: none"> 九九の練習をする。 	1	<p>【知技】・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。</p> <p>【思判表】・「かけ算」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。</p>	
	■ 九九であそぼう 【2】	<p>①②九九に習熟する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 九九カードを用いたゲーム「カルタあそび」「大きいほうがから」「九九ビンゴゲーム」をとおして計算練習をする。 	2	<p>【知技】・2の段から5の段までの九九が確実にできる。(2時間同評価規準)</p>	
	11 かけ算九九づくり【18】	<p>①九九表と九九づくりの図のしくみを理解し、用いることができる。</p> <p>★</p> <ul style="list-style-type: none"> 「もっと九九をやってみよう！」の活動をきっかけに、2の段から5の段までの九九を振り返り、それらの答えを九九表に書く。 九九づくりの図を用いて、6×2の答えの求め方を説明する。 	1	<p>【知技】・九九表に、2の段から5の段までの九九の答えを書くことができる。</p> <p>【思判表】・九九づくりの図を用いて、九九の答えの表し方を考えている。</p> <p>【態】単元を通じて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 乗法の意味や計算のしかたについて、累加や乗法に関して成り立つ簡単な性質を用いるなどして主体的に考えたり、乗法を生活や学習に活用しようとしていたりしている。 	<p>1年</p> <p>8 10 より大きい数</p> <p>15 大きな数</p> <p>2年</p> <p>10 かけ算</p> <p>13 九九の表</p> <p>3年</p> <p>1 かけ算のきまり</p> <p>4 わり算</p> <p>10 かけ算の筆算</p> <p>15 2けたの数のかけ算</p>
11 (20)	(6の段と7の段の九九)	<p>②6の段の九九を構成することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 6の段の九九を、乗数と積の増え方に着目して構成する。 6の段の九九を表にまとめる。 	1	<p>【知技】・乗数と積の関係などを用いて、6の段の九九を構成することができる。</p> <p>【思判表】・計算のしかたを振り返り、乗法に関して成り立つ簡単な性質を見いだしたり、それをもとに乗法を構成したりしている。(⑭まで同評価規準)</p>	<p>★まなびリンク シミュレーション「九九の表ツール」</p> <p>★まなびリンク シミュレーション「九九づくりの図ツール」</p>
		<p>③④6の段の九九に習熟する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 6の段の九九の唱え方を知り、練習する。 6の段の九九を、カードを使って練習する。 	2	<p>【知技】・6の段の九九を唱えることができる。(2時間同評価規準)</p>	
		<p>⑤7の段の九九を構成することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 7の段の九九を、乗数と積の増え方に着目して構成する。 7の段の九九を表にまとめる。 	1	<p>【知技】・乗数と積の関係などを用いて、7の段の九九を構成することができる。</p>	
		<p>⑥⑦7の段の九九に習熟する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 7の段の九九の唱え方を知り、練習する。 7の段の九九を、カードを使って練習する。 	2	<p>【知技】・7の段の九九を唱えることができる。(2時間同評価規準)</p>	

(8の段と9の段の九九)	⑧8の段の九九を構成することができる。 ・8の段の九九を工夫して構成する。 ・8の段の九九を表にまとめる。	1	【知技】・乗数と積の関係や交換法則などを用いて、8の段の九九を構成することができる。
	⑨⑩8の段の九九に習熟する。 ・8の段の九九の唱え方を知り、練習する。 ・8の段の九九を、カードを使って練習する。	2	【知技】・8の段の九九を唱えることができる。 (2時間同評価規準)
	⑪9の段の九九を構成することができる。 ・9の段の九九を工夫して構成する。 ・9の段の九九を表にまとめる。	1	【知技】・乗数と積の関係や交換法則などを用いて、9の段の九九を構成することができる。
	⑫⑬9の段の九九に習熟する。 ・9の段の九九の唱え方を知り、練習する。 ・9の段の九九を、カードを使って練習する。	2	【知技】・9の段の九九を唱えることができる。 (2時間同評価規準)
(1の段の九九)	⑭1の段の九九を構成することができる。 ・1の段の九九を構成する。 ・1の段の九九を表にまとめる。 ・1の段の九九の唱え方を知り、練習する。	1	【知技】・1の段の九九を唱えることができる。
(かけ算と倍)	⑮倍の意味を理解する。 ・2倍や3倍などの意味を知り、何倍かした長さを求めるには乗法を用いることを知る。 ・もとの長さを自分で決めて、その5倍の長さのテープを作る。	1	【知技】・倍の意味を理解し、乗法の式に表したり、もとの長さの何倍かの長さを作ったりすることができる。
(かけ算をつかって)	⑯乗法を用いる文章題を解決することができる。 ・乗法を用いる文章題に取り組む。	1	【知技】・乗法が用いられる場面を式に表し、文章題を解くことができる。
	⑰九九を活用して問題を解決し、乗法について理解を深める。 ・牛乳の本数の合計を求める場面で、九九が適用できるように分割したり移動したりして、工夫して求めるしかたを考え説明する。 [友だちのノートを見てみよう] ・教科書のノート例や友だちのノートを見て、ノートの書き方の工夫について話し合う。	1	【思判表】・ものの数を求める場面で、九九が適用できるように分割したり移動したりするなどの工夫を考え、図や式、言葉などを用いて表現している。
まとめ	⑱学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。	1	【知技】・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 【思判表】・「かけ算九九づくり」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。
■ 九九ジグソーパズル【1】	①九九に習熟し、乗法の性質について理解を深める。 ・九九表を分解して作ったジグソーパズルに取り組む。	1	【思判表】・九九ジグソーパズルの解決のしかたを、九九表における答えの並び方に着目して考えている。

	12 長いものの長さ【5】	①長さの単位「m」と単位の間係を理解する。 ・「長さをよそうしよう！」の活動をきっかけに、長さについての既習事項を振り返りながら、手を広げた長さや黒板の横の長さ、床から天井までの高さを予想する。 ・両手を広げた長さを測る活動をとおして、長さの単位「メートル(m)」を知り、 $1\text{m}=100\text{cm}$ を知る。	1	【知技】・長さの単位「m」を知り、 $1\text{m}=100\text{cm}$ の間係を理解している。 【思判表】・大きな長さを表す必要から、cmより大きい単位で表すことを考えている。(②まで同評価規準) 【態】単元を通じて評価する。 ・長さの測定に主体的に取り組み、生活や学習に活用しようとしている。	1年 14 くらべかた 2年 5 長さ 8 水のかさ 9 三角形と四角形 3年 5 長さ 11 重さ
		②長さを複名数や単名数で表すことができる。 ・1mのものさし4つ分とあと半分の長さを、4m50cmと複名数表記をする。また、それをcm単位で表す。	1	【知技】・長さを複名数や単名数で表すことができる。	
		③m単位の長さについても加法的性が成り立つことを理解する。 ・天井の高さを $2\text{m}20\text{cm}+70\text{cm}=2\text{m}90\text{cm}$ と求めることをとおして、長さがmで表されている場合も加減計算ができることを知る。	1	【知技】・複名数で表された長さの加減計算ができる。	
12 (15)	学んだことをつかおう	④身のまわりのものの長さについて、およその見当をつけ、測定することができる。 ・「(もっと長い)長さの図かかんを作ろう」という目的意識から、紙テープに目盛りをつけて1mより長いものさしを作り、身のまわりのものの長さを測定し、まとめる。	1	【知技】・1mより長いものの長さについておよその見当をつけ、目盛りをつけたテープやものさしを使って測定することができる。	
	まとめ	⑤学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。	1	【知技】・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 【思判表】・「長いものの長さ」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。	
	◎ ふくしゅう③【3】 ※+3	・「足し算とひき算」「水の傘」「三角形都市活計」「かけ算」「かゝ算九九作り」の復習をする。	3		
	■ 算数カレンダーを作ろう【1】	①1つの数をほかの数の和や差、積としてみるなど、数についての感覚を豊かにする。 ・式や図、絵などを用いて、数の表し方を工夫してカレンダーを作る。	1	【思判表】・1つの数を多面的に捉え、ほかの数の和や差、積とみて式で表したり、図や絵で表したりしている。	
	13 九九の表【6】	①九九の答えの一の位の数字の規則性に気づき、九九のきまりについて関心を高める。 ・「九九のもようをつくらう！」の活動をきっかけに、円上に書かれた数字を九九の答えの一の位の数字の順に直線で結ぶと規則的な模様ができることに気づき、九九のきまりに関心をもつ。	1	【思判表】・九九表を見て、いつも成り立つ性質を見だし、それを確かめている。(④まで同評価規準) 【態】単元を通じて評価する。 ・乗法に関して成り立つ性質に関心をもち、主体的に調べたり用いたりしようとしている。	1年 8 10より大きい数 15 大きな数 2年 10 かけ算 11 かけ算九九づくり 13 九九の表

		<p>②九九表を見て、さまざまなきまりを見つけることができる。</p> <p>九九表を見て、乗数と積の関係を理解する。★</p> <ul style="list-style-type: none"> 九九表を見て、九九のきまりについて学習したことや気づいたことを発表する。 どの段の九九も、乗数が1増えると積が被乗数の分だけ増えることを知る。 	1	【知技】・乗数と積の関係を理解している。	<p>3年</p> <p>1 かけ算のきまり</p> <p>4 わり算</p> <p>10 かけ算の筆算</p> <p>15 2けたの数のかけ算</p>
		<p>③九九表を見て、乗法の交換法則を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 九九表の中に同じ答えがあることに気づき、乗法の交換法則を知る。 	1	【知技】・乗法の交換法則が成り立つことを理解している。	
		<p>④九九表を見て、乗法の分配法則を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 3の段の答えは「1の段+2の段」のようになっていることについて、式や図を用いて説明する。 	1	【知技】・乗法の分配法則が成り立つことを理解している。	
		<p>⑤乗法に関して成り立つ性質をもとに、2位数と1位数との乗法の計算のしかたを考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 4×10, 4×11, 4×12, 10×4, 11×4, 12×4の答えの求め方を考え、九九表を12まで広げる。 	1	【思判表】・12までの2位数と1位数との乗法について、乗法に関して成り立つ性質などをもとに計算のしかたを考えている。	★まなびリンク シミュレーション「九九の表ツール」
	まとめ	<p>⑥学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元のまとめをする。 	1	<p>【知技】・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。</p> <p>【思判表】・「九九の表」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。</p>	
	14 はこの形【5】	<p>①箱の形をしたものの構成要素（面）について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「はこにきれいな紙をはろう！」の活動をきっかけに、箱の形を観察したり紙に写し取ったりする。 面の意味を知り、箱の形の面の形や数を調べる。 	1	<p>【知技】・箱の形の面の意味や、その形や数を理解している。</p> <p>【思判表】・箱の形について、図形を構成する要素（面、辺、頂点）に着目して特徴を捉えたり、構成のしかたを考えたりしている。（④まで同評価規準）</p> <p>【態】単元を通じて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 箱の形の特徴を調べたり、構成したりすることに主体的に取り組もうとしている。 	<p>1年</p> <p>10 かたちあそび</p> <p>18 かたちづくり</p> <p>2年</p> <p>9 三角形と四角形</p> <p>3年</p> <p>9 円と球</p> <p>4年</p> <p>16 立体</p>
		<p>②箱の形をしたものの構成要素（辺、頂点）について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ひごと粘土玉で作った箱の形を観察して、箱の形の辺、頂点の意味を知り、それらの数を調べる。 	1	【知技】・箱の形の辺、頂点の意味や、それらの数を理解している。	
1 (10)	学んだことをつかおう	<p>③④箱の形をしたものを構成したり分解したりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「お気に入りのはこを作ろう！」という目的意識から、箱の構成のしかたを考える。 	2	【知技】・長方形や正方形の面をつなぎ合わせて、箱の形を構成することができる。（2時間同	

			評価規準		
	まとめ	⑤学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。	1	【知技】・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 【思判表】・「はこの形」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。	
	15 1000より大きい数【7】 数のあらわし方	①10000未満の数のよみ方、表し方、4位数の構成と位取りのしくみ(千の位)を理解する。 ・「何まいあるかな?」の活動をきっかけに、紙の束を数えることをとおして、100のまとまりから1000のまとまりを作るとよいことに気づく。 ・4位数の十進位取り記数法によるよみ方、表し方を知る。 ・千の位について知る。	1	【知技】・千の位について知り、4位数のよみ方、表し方を理解し、書いたりよんだりすることができる。 【思判表】・十進位取り記数法のしくみをもとに、4位数までの数の表し方や比べ方を考えている。(②まで同評価規準) 【態】単元を通じて評価する。 ・既習の数の見方や表し方などをもとに、大きな数のしくみについて主体的に考えたり、4位数や10000を身のまわりから見つけ、その大きさを捉えたりしようとしている。	1年 8 10より大きい数 15 大きい数 2年 6 100より大きい数 3年 8 10000より大きい数
		②空位のある4位数のよみ方、表し方を理解する。 ・3025のような、空位のある4位数のよみ方、表し方を知る。	1	【知技】・空位のある4位数のよみ方、表し方を理解し、書いたりよんだりすることができる。	
	(100がいくつ)	③数の相対的な大きさについて理解する。 ・100を23個集めた数や、3400は100を何個集めた数かを考える。	1	【知技】・数の相対的な大きさを理解している。 【思判表】・数の構成や相対的な大きさに着目し、数を多面的に捉えて表している。(④まで同評価規準)	
	(一万)	④10000のよみ方、書き方 10000以下の数の順序について理解する。 ・花を数えることをとおして、1000を10個集めた数を一万といい、10000と書くことや、9999より1大きい数であることを知る。 ・10000までの数を数直線の上に表し、並び方などを調べる。	1	【知技】・一万について知り、10000のよみ方、書き方、及び数直線での10000までの数の位置、順序を理解している。	

	何百の計算	⑤百を単位としてみられる数の加法の計算のしかたを理解する。 ・ $700+500$ のような加法の計算のしかたを 100 をもとにして考える。 [1200-500 の計算]* ・ $1200-500$ のような計算のしかたを 100 をもとにして考える。	1	【知技】・100 をもとにした加法の計算ができる。 【思判表】・簡単な場合の 3 位数の加法の計算のしかたを、100 をもとにして考えている。	
	学んだことをつかおう	⑥数の役割について考え、物事を分類整理した結果を表すのに数を用いる場合があることを理解する。 ・「いろいろな数を見つけよう！」という目的意識から、身のまわりの数に着目し、その数の役割について考える。	1	【知技】・日常生活の中で、整数が分類整理に用いられていることを理解している。	
	まとめ	⑦学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。	1	【知技】・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 【思判表】・「1000 より大きい数」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。	
2 (15)	■ 数のめいろ【1】	①決められた和になる数の選び方を、筋道を立てて考えることができる。 ・いくつかの数を選んで、和が決められた数値になるように迷路を進む。	1	【思判表】・決められた和になる数の選び方を筋道を立てて考えている。	
	◎ ふくしゅう④ 【3】 +3	・「長いものの長さ」「九九の表」「はこの形」の復習をする。 ・単元 16 「図をつかって考えよう」に関わる既習事項を確認する。	3		
	16 図をつかって考えよう【5】	①加法と減法の相互関係について理解する。 ・「どんなもんだいができるかな？」の活動をきっかけに、おはじきをつかみどりをした結果（青 15 個、赤 17 個、合計 32 個）の場面をもとに、問題作りをする。	1	【知技】・加法と減法の相互関係について理解している。 【思判表】・加法と減法の相互関係について、図をもとに考え、式で表現している。(④まで同評価規準) 【態】単元を通じて評価する。 ・図を用いると場面や数量の関係が捉えやすくなるよさに気づき、問題場面を図に表すことに主体的に取り組もうとしている。	1年 5 ぜんぶで いくつ 6 のこりは いくつ 7 どれだけ おおい 17 どんなしき になるかな 2年 3 たし算 4 ひき算 3年 16 □を使った 式と図
		②加法逆減法の場面を図や式に表して、答えを求めることができる。 ・12 人乗っているバスに何人が乗車したら 28 人になったときの乗車した人数を求める場面で、テープ図を手がかりに減法の式に表して求めるしかたを考える。(加法逆減法 $a+\square=b$ の場合)	1	【知技】・加法逆減法の場面を図や式に表して、答えを求めることができる。	
		③減法逆加法の場面を図や式に表して、答えを求めることができる。 ・チョコレートを 10 個食べたあとで 13 個残っているときの初めにあったチョコレートの数を求める場面で、テープ図を手がかりに加法の式に表して求めるしかたを考える。(減法逆加法 $\square-a=b$ の場合)	1	【知技】・減法逆加法の場面を図や式に表して、答えを求めることができる。	

		④減法逆減法の場面を図や式に表して、答えを求めることができる。 ・26 cmのテープを何cmか使ったら17 cm残ったときの使ったテープの長さを求める場面で、テープ図を手がかりに減法の式に表して求めるしかたを考える。(減法逆減法 $a - \square = b$ の場合)	1	【知技】・減法逆減法の場面を図や式に表して、答えを求めることができる。	
まとめ		⑤学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。	1	【知技】・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 【思判表】・「図をつかって考えよう」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。	
17 1を分けて 【6】		①1/2の大きさや意味を理解する。 ・「半分に分けよう！」の活動をきっかけに、「半分」の意味について話し合ったり、具体的に説明したりする。 ・折り紙を多様な切り方で半分にする活動をとおして、1/2の意味を知る。	1	【知技】・具体物を操作することによって1/2の大きさを作り、1/2のよみ方、書き方を理解している。 【思判表】・具体物のもとの大きさに着目し、操作によって得られる大きさを表す分数の意味や大きさについて考えている。(④まで同評価規準) 【能】単元を通じて評価する。 ・具体物を操作して1/2、1/3などの大きさを作ったり、分数で表したりすることに主体的に取り組もうとしている。	2年 9 三角形と四角形 11 かかけ算九九づくり 3年 12 分数 14 小数
		②等分の意味や、等分と倍の関係を知り、1/2の大きさについて理解を深める。 ・テープの長さを1/2にする活動をとおして、等分の意味や、等分と倍の関係をj知る。	1	【知技】・等分の意味や、等分と倍の関係について理解している。	
		③1/4、1/8の大きさや分数の意味を理解する。 ・テープを半分に折って、それをさらに半分に折る活動をとおして、1/4の大きさを知る。また、1/8の大きさや分数の意味を知る。	1	【知技】・具体物を操作することによって1/4、1/8の大きさを作り、分数の意味を理解している。	
		④もとの大きさが違うと1/2の大きさも違うことに気づき、分数の意味について理解を深める。 ・もとの長さが10 cmのテープの1/2の長さや、1/2にした長さが4 cmのテープのもとの長さを考え、もとの長さが違うと1/2の長さも違うことを説明する。	1	【知技】・もとの大きさが異なると、その1/2の大きさも異なることを理解している。	

		<p>⑤1/2, 1/3, 1/4の大きさを作る活動をとおして、乗法、除法についての素地となる見方を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12個つながったチョコレートを等分すると何人に分けられるかを考え、図と数、言葉で説明する。 ・12個のチョコレートを何等分かすると1人分は何個になるかを考え、図と数、言葉で説明する。 	1	<p>【思判表】・乗法、除法の素地的な見方として、分離量について1/2, 1/3, 1/4の大きさを作り、等分と倍の関係を言葉や図、数を用いて表現している。</p>	
	まとめ	<p>⑥学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめをする。 	1	<p>【知技】・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。</p> <p>【思判表】・「1を分けて」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。</p>	
3 (10)	● 算数をつかって考えよう【1】	<p>①知識・技能等を活用し、課題解決のための構想を立て、筋道を立てて考えたり、数学的に表現したりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフから、お手伝いの回数が多かった日や少なかった日を読み取る。また、金曜日の回数をよみ取り、その4倍の回数を求める。 グラフの○の数の合計に着目することができる。* ・グラフの○の数の合計を求める場面で、九九が適用できるように分割したり移動したりして、工夫して求めるしかたを考え説明する。 	1	<p>【思判表】・日常の場面から算数の問題を見だし、グラフや九九などの学習を活用して解決したり、言葉や図、式などを用いて説明したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。</p> <p>【態】単元を通じて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。 	
	■ お楽しみ会で算数【1】	<p>①2学年の学習内容を理解し、問題を解くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お楽しみ会の場面絵をもとに、2学年で学習した内容についての問題を解決したり、問題を作ったりする。 	1	<p>【知技】・日常の場面から算数の問題を見だし、文章題を解いたり問題を作ったりすることができる。</p>	
	◎ 2年のまとめ【8】 ※+4	<p>①②③④⑤⑥⑦⑧第2学年の学習内容の問題を解決することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数と計算、図形、測定、データの活用についての問題に取り組む。 	8	<p>【知技】・第2学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。(4時間同評価規準)</p> <p>【態】単元を通じて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年で学習した基本的な問題について、それらが確実に身につくように取り組もうとしている。 	

